

# 2020年総合生活改善 第3回中央生活闘争委員会

## ＜確認事項＞

2020年3月7日  
自動車総連

＜スローガン＞ **新たな時代に向けて みんなで更なる一步を踏み出そう！**

- ☆2月末までを目途とした自動車総連全体の要求提出について、3月6日時点で集計対象全1,086単組の97.6%にあたる1,060単組で要求提出を完了している。
- ☆「月例賃金」は、目指すべき賃金の絶対水準、あるいは自分達の職場状況を踏まえた賃金課題を基に、「自らの要求」の根拠を具体的に積み上げ、交渉を行っているケースが随所に見られる。各単組において、目指すべき賃金水準を実現し、底上げ・底支え、格差是正につながる強い意志が全体に表れているものと受け止める。
- ☆「企業内最低賃金」は、新規締結の要求を行う単組が増加していることに加え、要求額についても昨年を上回る状況にある。各単組が自社の魅力向上・人材確保のみならず、自動車産業や社会全体の底上げ・底支えに繋がることを強く意識し、自動車総連の社会的役割を果たすべく、積極的に取り組みを進めている。
- ☆主要単組の交渉状況は、総じて「賃上げによる人への投資」の必要性について労使共通の認識に立てている。各単組の「自らの要求」の根拠である職場課題や賃金課題に対する強い思い、職場が取り組んできた生産性向上の取り組みなどが、これまでの労使交渉を通じて理解が深まったものと受け止める。
- ☆しかしながら、組合の賃金要求に対し経営側は、米中対立などによる企業の状況や、賃上げによる中長期の競争力への影響、また、組合員の意識・覚悟を踏まえた最適な「人への投資」のあり方を回答日ギリギリまで見極めるべく、現時点においては明確な水準の方向性を示しておらず、厳しい姿勢を崩していない。
- ☆年間一時金要求についても、通期での業績悪化に加え、新型コロナウイルスによる影響も含め先行きが見通せないことなどを背景に、満額での回答に対する強い懸念を示しており、厳しい状況が続いている。
- ☆こうした状況を打ち破り、全ての単組の「最大限の回答」の引き出しに繋げるべく、次頁に示す「回答引き出しに向けた基本態度」を確認事項とし、自動車総連一体となって最終盤の交渉を追い上げていく。

## ■ 回答引き出しに向けた基本態度

☆自動車総連は、最大限の回答を引き出すべく、自動車総連一体となって粘り強く交渉を追い上げていくことを確認する。

☆今次交渉は一年間の総決算であることを踏まえ、新型コロナウイルスの影響とは一線を画し交渉に臨むこととする。

### <月例賃金>

○全ての単組は、自らの要求に基づく「賃上げによる人への投資」の必要性について労使共通の認識に立った上で、その要求を十分に満たしうる最大限の回答を引き出すべく、最後の最後まで交渉を追い上げる。

○単年度で解決できない課題については、賃金制度の見直しや専門委員会の設置など具体的な会社の考えを確認することで、今後の取り組みに確実に繋げる。

○回答に向けては、賃金以外の「人への投資」など、他の労働条件と混合することなく、賃金要求は賃金要求としてこだわる。

○自動車総連本部及び各労連は、各単組の「賃上げによる人への投資」を求める強い意思を形にすべく、具体的な戦術・サポートの展開、回答引き出し状況の速やかな収集・分析・共有等を行う。

### <企業内最低賃金>

○企業内最低賃金が自社の魅力向上・人材確保のみならず、自動車産業や社会全体の底上げ・底支えに繋がることを強く意識し、協定の新規締結・水準の引き上げ・対象者の拡大に向けた最大限の回答を引き出す。

○とりわけ協定未締結単組については、協定の新規締結を確実に実現させる。

### <年間一時金>

○組合員の努力・頑張りに報い、更なる意欲・活力に繋げていくためにも、満額獲得に向け、最後まで押し込む。

○組合員の生活の安心・安定感の観点から、年間協定にとことんこだわる。

### <働き方に関する取り組み>

○職場全体の生産性向上や恒常的な長時間労働の是正を図るべく、今次交渉を通じ労使で議論した、職場風土や60歳以降の働き方等の課題について、解決に向けた回答を引き出すとともに、今後の取り組みに確実に繋げる。

### <非正規雇用で働く仲間に関する取り組み>

○同一価値労働同一賃金を強く意識し、労働諸条件改善の取り組みが一步でも二歩でも前に進む回答を引き出す。

○賃金改善については具体的な有額での回答引き出しを図り、同じ職場で働く仲間の意欲・活力の向上に繋げていく。

### <早期決着に向けた取り組み> ※2月6日 第1回中央生活闘争委員会<確認事項>再掲

○自動車総連全体のヤマ場を3月11日(水)から3月20日(金)までとし、この間で、各単組・労連は、集中的な回答引き出しに最大限努力する。

○主要単組における集中回答日は3月11日(水)とし、午前中に要求項目の同時回答を引き出す。

○全ての単組は3月末解決を目指し、遅くとも4月末までの解決に強力に取り組む。